

新刊書案内

大阪府立八尾高等学校図書館

2026年度 No.1

書名	著者名
ケーキ王子の名推理 7	七月 隆文
ニホンブンレツ	山田 悠介
男性の育児休業 社員のニーズ、会社のメリット	佐藤 博樹
しゃばけシリーズ	島中 恵
だから私は、明日のきみを描く	汐見 夏衛
烏衣の華 3	白川 紺子
召喚された賢者は異世界を往く 4	夜州
ホワイトアウト	真保 裕一
恋するパンプキンスパイスカフェ mira books	ローリー・ギルモア
口に関するアンケート	背筋
余命一年と宣告された君と、消えたいと願う僕が出会った話	森田 碧
涙の箱	ハン・ガン
おわりのそこみえ	図野 象
さよならジャバウォック	伊坂 幸太郎
変な地図	雨穴
天国での暮らしはどうですか	中山 有香里
カナダー資源・ハイテク・移民が拓く未来の「準超大国」	山野内 勤二
黒猫のいる回想図書館	柊サナカ
バニラな毎日	賀十つばさ
丸の内魔法少女ミラクリーナ	村田沙耶香
はじめての	島本理生他

「涙の箱」ハン・ガン

本書は童話と銘打ちながらも、深い絶望や痛みを描き、そこを通過して見える光を描くハン・ガンの作品世界を色濃く感じられる作品です。

2008年、韓国で発売され、本国では子どもから大人まで幅広い年齢層に愛されている本作。ハン・ガン作品との出会いにもおすすめの一冊です。



「だから私は、明日のきみを描く」汐見 夏衛

「—なんてきれいに空を跳ぶんだらう」
陸上部の彼方にひとめぼれした中1の遠子。でも彼は、親友・遥の好きな人で…。

内気で自分を出すのが苦手な遠子にとって、遥は誰よりも大切な友達。太陽みたいにまぶしい彼方への想いは、封印しようと決心する。我慢するほどあふれる彼方への想いはとまらなくて…。友情と恋にゆれうごく気持ちに涙する、感動物語！



「男性の育児休業」佐藤博樹

多くの企業では男性社員が子育てに携わることを想定してこなかった。本書は、少子化対策としてのみ論じられがちな男性の育児休業を、社員が勤労意欲を高水準で維持し、能力を最大限に発揮するための選択肢の一つとして捉え、取得促進への具体案を提示する。



八尾高生のおすすめ図書コーナー

3年生 S・K さんのおすすめ

「皇后の碧」阿部 智里

主人公の少女ナオミは、風の精霊を統べる皇帝から「私の寵姫の座を狙ってみないか?」と誘われ、後宮に足を踏み入れることになります。王道のシンデレラストoryのように見えて、謎が謎を呼ぶファンタジー小説で、おもしろくて、とても読みやすいのでおすすめです。



3年生 T・N さんのおすすめ

「ジゼル」秋吉 理香子

15年の時を経て公演されることになった「ジゼル」。演目の再開に伴い起きる不可解な事件が続き、激しい嫉妬、愛憎がうず巻く中、過去の真相に迫る…! 圧巻のどんでん返しが魅力のミステリー小説です!

